



医療 ISAC Security Lecture 2025

#01

直近までの国内医療セキュリティの動向から見る、短期・中長期的な重点検討ポイント

講師：医療 ISAC 共同創立者／事務局長 江原悠介

日時：2025 年 5 月 20 日（火）17:00～18:00 Google Meet によるライブ配信

講師略歴

医療 ISAC 共同創立者 兼 事務局長として、四病院団体協議会や全国保団連、全老健、ドック学会、日本保険薬局協会等の医療関係団体、または医療 IT ベンダと共同でのセキュリティ調査・レポートニング活動、各種セミナー講演等を通して、国内ヘルスケア分野のセキュリティ向上に向けた教育・啓発活動を行っている。



（その他）

- ・ 特定非営利活動法人 デジタル・フォレンジック研究会 理事（ヘルスケア分科会 主査）
- ・ 経済産業省 情報セキュリティサービス審査基準 技術検討会 委員
- ・ 徳洲会インフォメーションシステム（株） セキュリティアドバイザー
- ・ PwC Japan 有限責任監査法人 リスクアシュアランス ディレクター

講演要旨

2023 年から国内でも本格開始された医療 DX というデジタル化の＜アクセル＞とともに、国内医療分野でも同タイミングで＜ブレーキ＞としてのサイバーセキュリティの取組が本格化された。

具体的には、医療法・薬機法施行規則の改正に伴う病院や薬局に対するサイバーセキュリティの義務化に加え、医療機器サイバーの文脈でも薬機法基本要件基準 12 条 3 項の適用に伴い、医療機器メーカーへの製品セキュリティ対策の義務化、及び医療機関とのリスクコミュニケーションの促進強化に見られる、こうしたサイバー規制強化は、畢竟、医療 DX という＜アクセル＞面の取組とセットで考えなければ最終到着点は見えづらい。単なるガイドラインや法令が求める要件に逐次的に対応していくことは必要ではあるものの、＜ゴールの見えないマラソン＞ほど、キツイものはない。

ある程度、最終地点から逆算して、フォワードルッキングにセキュリティの現状に向かい合っていくことが重要である。



こうした考えのもと、医療 ISAC では新体制の開始に伴い、医療 DX に加え、それ以外の国内外のサイバーセキュリティ規制・業界状況等も考慮した観点より、国内の医療分野に今後求められると思われる未来志向的なセキュリティの仕組作りを推進すべく、分科会を立ち上げ、活動していくことを計画している。

分科会の目的は各種各様であるが、そこに通底する共通項は、短期的な困りごとに終始するのみでなく、将来困ることになるだろう、中長期的な隠れた課題を抽出し、それに効果的に対応するための仕組作りを目指しているという点となる。

本講演では、直近までの国内医療分野におけるサイバーリスクの変化や規制動向の進展等を踏まえ、短期、あるいは中長期的に対策が重点的に求められるであろう課題群を整理するとともに、その対応の考え方を解説するとともに、そこに医療 ISAC における分科会活動がどのように関連しているのかについても説明を行う。

補足事項

- ・本イベントの Q&A タイム以外の講演部分を録画いたしますのでご承知おきください。
- ・有料会員専用サイトにて録画した動画を見逃し配信いたします。(配信期間：1 か月)